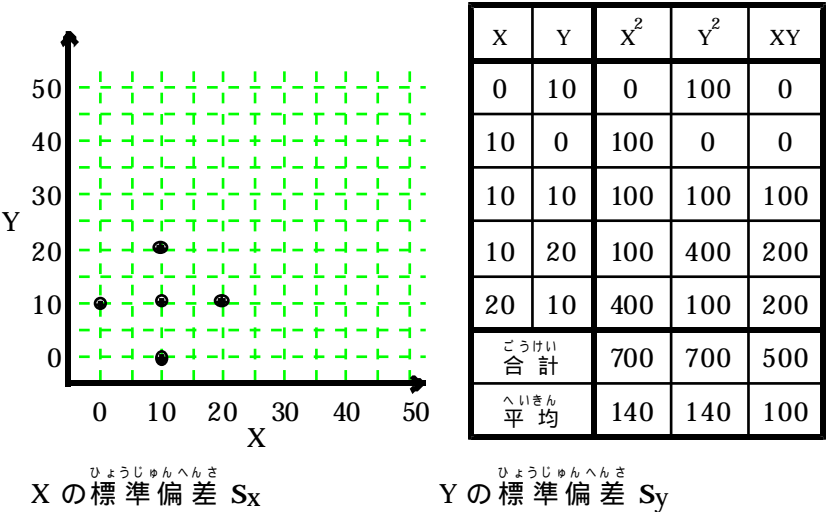


1. 次の にあてはまる言葉を書き入れなさい。
- (1)2 つの 量の関係を座標を用いて表した図を、 図 という。
- (2)散布図において、一方が増加するとき、他方も増加する傾向があるとき、 の相関関係があるという。
これに対して、一方が増加するとき、他方が減少する傾向があるとき、 の相関関係があるという。
そのどちらの傾向もないとき、 相関関係は という。
- (3)資料の 値の合計を全体の度数で割った 値を という。
- (4)データの 値と平均値の差を という。
- (5)偏差の2乗の平均値を という。
- (6)分散の正の平方根を という。
- (7)X,Yの偏差の積の平均を、それぞれの標準偏差で割った 値を という。

2. 次の資料は5人の生徒がX,Yの試験をしたときの資料である。相関係数を求め、相関関係を調べよ。

No.	X	Y	$X - \bar{X}$	$Y - \bar{Y}$	$(X - \bar{X})^2$	$(Y - \bar{Y})^2$	$(X - \bar{X})(Y - \bar{Y})$
1	0	10					
2	10	0					
3	10	10					
4	10	20					
5	20	10					
ごうけい合計							
へいきん平均							



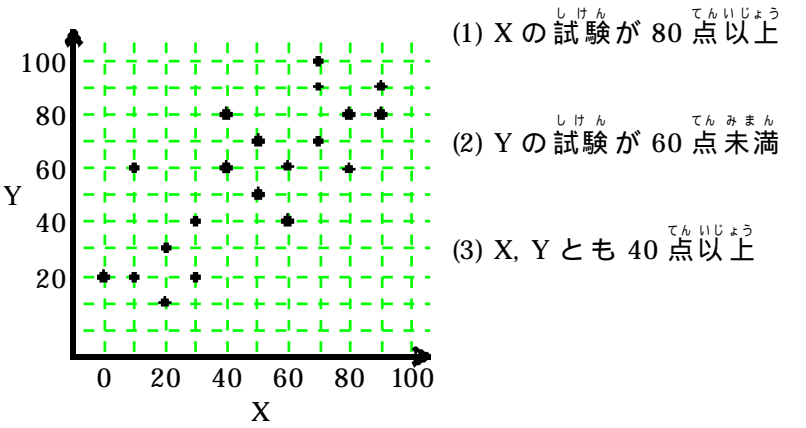
X,Yの共分散 S_{xy}

相関係数 r

3. n個のX,Yの2組のデータにおいて、i番目を X_i, Y_i とするとき、次の値を求める式を書きなさい。
- (1) Xの平均 \bar{X}
- (2) Xの分散 S_x^2

- (3) X,Yの共分散 S_{xy}

4. 次の図は20人の生徒がX,Yの試験をしたときの散布図である。次の生徒の人数を求めなさい。



5. 次の資料は6人の生徒がX,Yの試験をしたときの資料である。相関関係を調べよ。

No.	X	Y	
1	0	10	
2	10	0	
3	10	10	
4	10	20	
5	20	10	
6	70	70	
ごうけい合計			
へいきん平均			

